

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建築物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日立物流 東日本第二モデル	階数	地上4F
建設地	埼玉県加須市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、指定なし	平均居住人員	/80人
地区区分	5地域	年間使用時間	4,928時間/年(標準値)
建物用途	事務所工場、	評価の段階	
竣工年	2021年1月	評価の実施日	2018年10月18日
敷地面積	29,848 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	11,507 m ²	確認日	2019年10月21日
延床面積	32,243 m ²	確認者	川口 典宏

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 1.8 ★★★★ S:★★★★ A:★★★★ B:★★★★ B-:★★ C:★			
環境負荷	環境負荷指し	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年・m ²

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
02 サービス性	01 室内環境

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.6

LR のスコア= 3.7

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q1 室内環境	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

LR のスコア= 3.7	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

3 計算上の配慮事項	
総合評価を算出するためには、周辺の景観と調和した素材・色彩とし、また接道する部分に遮音を設置するなど建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	その他の配慮

Q2 サービス性能	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

Q3 室外環境(敷地内)	
建物外皮の断熱化による建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化による環境負荷の低減を図っている。	

| LR のスコア= 3.7 | |
</
| --- | --- |

**CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)日立新築 東日本第二データカル新築センター計画**

■ 使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート

評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		評価点		全体 係数
		重み 係数	評価点	重み 係数	評価点	
Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境						3.3
1 音環境						3.0
1.1 室内騒音レベル						2.6
1.2 騒音						2.6
1 開口部騒音性能						3.0
2 界壁騒音性能						3.0
3 界床騒音性能(軽量衝撃源)						3.0
4 界床騒音性能(重量衝撃源)						-
1.3 吸音						-
2 運動環境						-
2.1 室温制御						2.4
1 室温						3.0
2 外皮性能						3.0
3 ソーラン別制御性						3.0
2.2 温度制御						-
2.3 空調方式						-
3 光環境						3.5
3.1 曜光利用						3.5
1 曜光率						4.2
2 方位別開口						5.0
3 曜光利用設備						3.0
3.2 クレア対策						-
1 曜光制御						-
3.3 照度						-
3.4 照明制御						-
4 空気質環境						3.8
4.1 発生源対策						3.8
1 化学汚染物質						-
4.2 換気						-
1 換気量						-
2 自然換気性能	窓が開閉可能な居室において、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。					-
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方位に設けており、かつ各種排気口と異なる方位で、かつ6m以上離して設置している。					-
4.3 運用管理						-
1 CO ₂ の監視						-
2 窓の制御						-
Q2 ナース性能						3.1
1 機能性						-
1.1 機能性・使いやすさ						-
1 広さ・収納性						-
2 高度情報通信設備対応						-
3 ハイアフリーコード						-
1.2 心理性・快適性						-
1 広さ感・景観						-
2 リフレッシュスペース						-
3 内装計画						-
1.3 維持管理						-
1 維持管理に配慮した設計						-
2 維持管理用機能の確保						-
2 耐用性・信頼性						-
2.1 耐震・免震・制震						-
1 防震・免震・制震性能						-
2.2 部品・部材の耐用年数						-
1 駆体・材料の耐用年数						-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						-
3 主要内装仕上げ材の更新必要隔床:ピニル床シート又はタイルカーペット、壁:ビニルクロス、天井:石膏ボード						-
4 空調機器ダクトの更新必要間隔						-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用					-
6 主要設備機器の更新必要間隔						-
2.4 信頼性						-
1 空調・換気設備						-
2 給排水・衛生設備						-
3 電気設備						-
4 壁紙・配管支持方法						-
5 通信・情報設備						-

3 対応性・更新性		3.2	0.30	-	3.2
3.1 空間のゆとり		3.8	0.30	-	
1 隅高のゆとり		3.0	0.50	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.055	3.0	0.40	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.40	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
6 ハックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3 地外環境(敷地内)		0.40	-	-	3.6
1 生物環境の保護と創出		3.0	0.30	-	3.0
2 まちなか・景観への配慮	建築物等の外観を構成するものは、周辺の景観と調和した素材・色彩としている。	5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	2.5
3.1 地域性への配慮・快適性の向上		2.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	
LR 建築物の資源循環・低炭素性		3.0	0.50	-	3.7
LR1 建築材料		0.40	-	-	4.1
1 建築外皮の繊維抑制剤	[BP][BPM]: 0.76	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	3.0
3 施設システムの高効率化	[BEU][BELm] = 0.56	4.4	0.50	-	4.4
4 効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価面		3.0	1.00	-	
4.1 運用管理体制		3.0	0.50	-	
集合住宅の評価面		3.0	0.50	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	
LR2 建築・マテリアル		0.30	-	-	3.5
1 水資源保護		2.2	0.20	-	2.2
1.1 飲水		1.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2 集合住宅の評価面		3.0	0.30	-	
2.非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	3.8
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	
2.2 脱水利用・雑排水等の継続使用		3.0	0.22	-	
2.3 製本材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
2.4 廉価材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材の使用		-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	
3 農業物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	
1 消火剤	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	5.0	0.50	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 地域外環境		0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 = 16%	3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮	燃焼機器を使用していない。	3.6	0.33	-	3.6
2.1 大気汚染防止		5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	
1 雨水排水への負荷低減		3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制		5.0	0.25	-	
4 废棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 隅辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	
2 振動		-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	
3.2 国害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	
1 国害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.70	-	
2 殺虫の抑制		-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	
1 光漏洩明並びに内蔵明るさ均一化による光漏洩抑制への対策	遮光フェンスを一部設置、隣地と地盤高さを合わせている。	5.0	0.70	-	
2 遮光の遮蔽が壁による遮光(グレード)への対策		3.0	0.30	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要	建物名称 (仮称)日立物流 東日本第二メガBEE	1.8	BEEランク ★★★★
--------	-----------------------------	-----	----------------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO₂の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア
3.9 + **3.0** = **6.9**

重点項目の各スコアの合計点

がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上
--------------------	-----------------	--------------------	--------------------

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア **3.9**

<配慮した内容を記述> 建物用途に適した高性能な断熱材を選定し、建物の熱負荷抑制を図っている。また空調負荷、照度等についても建物用途に適した計画とし、かつ高効率な器具を選定し環境負荷の低減を図っている。

(2) 緑の保全・創出

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出
3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア **3.0**

Q3 室外環境(敷地内)

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア **3.0**

<配慮した内容を記述> 敷地内は道路や隣地に面する部分に植栽し、また建築物等の高さや形状において周辺の町並みや景観バランスよく調和した配置としたことで周辺の風通しに配慮し、敷地外への熱的な影響を低減を図っている。

: 入力欄